

## カーヤこども食堂 活動報告書

開催場所 京都スパイスカレーKAAYA

参加費 こども 無料 / 保護者 300 円

開催日 2023 年 4 月

3 日、7 日、14 日、21 日、26 日、28 日

★3 日 16:30～19:00 「王将のお子様弁当無料配布とフード・パントリー」

参加者 こども 27 名 保護者の方 23 名

配布 お米、クッキー、歯ブラシ、歯磨き粉、ハンドクリンなど衛生用品

★7 日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (メープルマフィン、カレーおにぎり、メイプルクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、チロリアン

参加者 こども 15 名 保護者 1 名

★14 日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (メープルマフィン、カレーおにぎり、メイプルクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス

参加者 こども 31 名 保護者 2 名

★21 日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (さつまいものモチモチいももち、カレーおにぎり、メイプルクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス

参加者 こども 30名 保護者 3名

★26日 11:30～19:30 「カレーの日」 (予約制)

食事 チキンカレー、海苔と新たまねぎのスープ、ルイボスティー

※ブックシェアリングを同時開催

配布 チョコ菓子、ドーナツなどのお菓子と衛生用品

参加者 こども 21名 保護者 10名

★28日 14:00～17:00 「おやつのじかん」

おやつ 手作り (はちみつキャラットマフィン、カレーおにぎり、メイプルクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、ルイボスティー

参加者 こども 32名 保護者 5名

ご支援 お米 1合 x 2、お米 2合、お米 3合、お米 5kg x 4袋、お米 10kg、お米 15kg、絵本・児童書 43 冊、味のり 1個、駄菓子の詰め合わせ 1箱、ゼリー 24 個、チョコ菓子 35 袋、ナッツのお菓子 2 袋、お菓子 3 箱、ドーナツ 24 個、離乳食 3 パック、スープ 1 袋、缶コーヒー 1 本、小麦粉 2 袋、砂糖 1kg x 2 つ、さつまいも 1 本、じゃがいも 9 個、ふきん 15 枚、ショーツ用洗剤 15 本、パズル 1 つ、支援物資セット 20 ケース、参加費 16 名円、バッジ 1 個 300 円、寄付 0 円

今月は店内飲食と持ち帰りをあわせて、延べ人数こども156名と保護者44名で合計200名の参加がありました。フード・パントリーで、お米やお菓子などと衛生用品を参加者に配布しました。

今月も、継続して食材などを支援してくださる個人のサポーターや、フードバンクとNPO団体の方々、参加者によるボランティアにお世話になりました。

新年度になり、進学や進級、クラス替えなど、環境の変化について、話してくれるこどもが多かったです。昨年度から継続して通っているこどもたちも元気な様子で安心します。

成長して身体が大きくなったり、こども食堂の環境に慣れてきたりするのに伴い、参加人数が増え、また、こども一人が一回の食事で食べる量も増えてきています。「カレーの日」は特に、一回の開催で準備できる料理の量に限りがあり、30名前後の参加人数が限界となっています。多くの人に届いてほしいという気持ちと、こども食堂に来て食事をするこどもにおなかいっぱい食べてほしいという気持ちの板挟みで、どうしていくべきかスタッフ間で何度も話し合いをしました。「おやつのじかん」に来るこども向けにも、始まった当初に比べるとおやつの選択肢が絞られていたり、おかわりが制限されたりと、段階を踏んで協力をお願いすることばかりです。3時40分から4時45分がピークタイムとなり多い時には25名以上のおこどもたちが殺到することもあります。

完璧な結論が出たわけではありませんが、「こども食堂を続ける」という当初の目標を大切に、この先もその時の状況に合わせて知恵を絞って活動を継続していくけるようにしようということで一致しています。

参加人数の増加、食べる量の増加、物価高騰に伴い、カーヤこども食堂の運営費も始めた頃のような余裕がなくなっています。行政や企業のこども食堂向けの補助金や助成金にも申し込んでいますが、多くが年度ごとの採用であり、また、活動費の全額を賄えるわけではありません。助成金には審査があり、全国的に申し込むこども食堂の数が増加しているため、すべてのこども食堂が助成を受けられるわけではありません。

京都市の社会福祉協議会からも「補助金や助成金に頼らずとも運営できるようなシステムの構築を」と実際に言われています。

4月になりましたが、今年度の活動資金の補填のため申し込んでいる助成も審査が通るかまだ連絡がなく、開催にあたって毎回不安を抱えています。

今までではこども食堂の参加者やこどもたちに活動資金の援助をお願いすることなくやってこられていましたが、今後は協力できるところには協力してもらえるように働きかけていかないといけないのかかもしれないと考えています。

カーヤこども食堂運営委員会

木村